

やんばる観光地域づくり戦略・やんばるDMO戦略（案） 【概要版】

令和7年3月
北部広域市町村圏事務組合

『やんばる観光地域づくり戦略』と『やんばるDMO戦略(案)』の関係性

『やんばる観光地域づくり戦略』は、やんばる地域の観光の目指す姿を検討対象とし、『やんばるDMO戦略(案)』はやんばる観光地域づくり戦略で位置付けた課題のうち、**やんばるDMO【仮称】(観光地域づくり法人)**が担う部分の組織戦略を対象とする。

	①やんばる観光地域づくり戦略	②やんばるDMO戦略(案)*
目的	<ul style="list-style-type: none"> 観光業に係る社会経済的情勢ややんばる地域の観光の現状を把握し、広域観光振興のありたい姿やその実現に向けた課題と解決策を整理すること 	<ul style="list-style-type: none"> 左記の“やんばる観光地域づくり戦略”を踏まえ、広域観光振興組織であるDMOの目指す姿・方向性を定義し、組織設立・組織活動のロードマップを示すこと
位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> やんばる地域の観光の目指すべき姿 各市町村単独ではなく広域で対応すべき課題・広域で共通する課題を対象にした戦略 	<ul style="list-style-type: none"> 左記の“やんばる観光地域づくり戦略”で位置付けた解決策のうち、広域観光振興組織が担う部分の“組織戦略”
概念図		

*やんばるDMO戦略の策定・実施主体は、令和7年10月以降の設立を予定している「やんばるDMO（仮称）」である。今後の進め方としては、組織関係者と十分な調整を図った上で確定させることを予定しているため、現時点で記載している内容に変更が生じる可能性があることについてご留意頂きたい。

① やんばる観光地域づくり戦略の概要

やんばる観光地域づくり戦略の策定目的、位置づけ

【策定の目的】

- 観光に関する社会経済的情勢ややんばる地域の観光の現状を把握し、広域観光振興の目指すべき姿やその実現に向けた課題と解決策を整理すること

【位置づけ】

- やんばる地域の広域観光振興の観点から、北部12市町村の関係者が依拠すべき方向性を示したもの

【計画期間】

- 令和7度（2025年）から令和11年度（2029年）までの5年間

【関係者】

- やんばる地域を管轄する地域連携DMO（新設予定）
- 行政機関（国、沖縄県、北部12市町村）
- 観光関連団体（OCVB、北部12市町村内の観光協会等）
- やんばる地域の観光振興に関わる地域事業者
- 北部12市町村内の高等教育機関
- 北部12市町村内の地域住民

やんばる地域の課題と解決の方向性

- やんばる地域の観光振興においては、マーケティング/ブランディング活動に対する課題や観光需要の偏在、地域住民が観光振興によって恩恵を受けていると実感していない現状がある
- また、専門人材の確保・人材育成や、事業者の観光振興策等への参画の場が限られること、観光客による地域住民への負荷の増加も懸念されている

課題の概要	課題解決の方向性
1 各市町村がそれぞれマーケティング/ブランディング活動を実施しているが、予算やスタッフに限りがある	地域全体でのマーケティング/ブランディングの実施による効率化と効果の最大化
2 各市町村の観光地としての認知度がバラバラであり、地域の有する資源を消費者である観光客に訴求できていない	“やんばる”としてマーケティング/ブランディングの実施による、各市町村の訪問意向等への裨益
3 地域内の観光需要が偏っている	やんばる地域全体での観光客の周遊促進
4 地域住民が観光振興により日常生活で恩恵を受けていると実感していない	観光効果の可視化と住民への情報提供
5 専門人材（外国人対応/デジタル化）の確保及び専門人材育成体制が整っていない	観光人材の育成・採用支援、観光客の受け入れ体制構築の支援
6 観光事業者の地域の観光振興策等への参画の場が限られる	地域住民・事業者の声を収集・反映できるような場づくり
7 観光客による地域住民への負荷が増えている	自然環境・地域住民に負荷をかけない観光客向けルール・マナーの策定・普及活動

① やんばる観光地域づくり戦略の概要

やんばる地域づくり戦略の全体像（1/2）

- 本戦略では、5つの戦略の柱に対し、「目指すべき姿」「方針」とそれに紐づく事業内容を策定した

戦略の柱	目指す姿	方針	事業内容（打ち手）	概要
1 沖縄県の一 大デスティネ ーションとし ての“やんば る”ブランド の確立	観光客に訪れたいと思われ る県内の一大デスティネーション として“やんばる”地域を位置 付けることを目指す	A やんばる地域全体のマーケティング ブランディング	観光地としての“やんばる”ブランド 強化に向けた活動の推進	やんばる地域への訪問意欲を高め 各市町村への誘客を促進するため に、観光地としての“やんばる”の ブランド力の強化に向けた活動を 推進する
		B やんばる各市町村のマーケティング 活動を支える基盤構築	“やんばる”ブランド活用ルール の整備・統一化 観光関連データの収集・整備	各市町村・観光協会・地域事業者 が一体となって統一的なマーケ ティング/ブランディング活動が できる環境を創出するため、マー ケティングツール等の活用ルール の整備を進める 地域の観光関連業務の効率化及 び観光データ分析の高度化を 実現するために、各市町村・観 光協会が収集している観光デー タを整備・集約・公表する
2 観光のもたら す効果の地域 全体への波及	やんばる地域内での訪問・滞在 を促し、観光のもたらす効果を 域内全域へと波及させることを 目指す	A 観光客の流動化をもたらし 施策の考案と実施	地域周遊に繋げるための広域 観光の推進	既にやんばる地域に訪れている 観光客を地域内で周遊させる ために、各地域の魅力の掘り 起こしや旅ナカでの情報発信 に加え、各市町村連携による 観光ルート開発、観光ツアー の造成等、広域観光を推進 する
			やんばる地域内での観光交通 機能の整備・強化	特定の場所・地域に訪れる 観光客をやんばる地域内の 他の観光資源へと流動化さ せるために、2次交通の拡 充支援等、観光交通機能の 整備・強化を進める
3 観光のもたら す効果の可視 化と情報提供 の徹底	やんばる観光に関する情報を 把握し、発信することで、域 内のステークホルダーの活 動を支援することを 目指す	A 観光関連データの収集・整備 と情報提供	観光関連データの収集・整備 （再掲）	地域にもたらす効果（経済 効果）等を地域住民・事業 者に発信することを目指し、 観光に係る各種情報の収 集・分析を行う
			地域関係者への情報発信	地域にもたらす効果（経済 効果）等を地域住民・事業 者に発信する

① やんばる観光地域づくり戦略の概要

やんばる地域づくり戦略の全体像（2/2）

戦略の柱	目指す姿	方針	事業内容（打ち手）	概要
4 やんばる地域全体での観光客受け入れ体制の構築	あらゆる人がやんばる地域の魅力を持続的に享受できる体制を構築することを目指す	A やんばる地域全体で取り組むべき特定テーマや課題に対する環境整備	特定課題の解決に向けた検討の場づくり	特定のテーマ・課題に対する解決策を検討するため、産学官で検討できる場を設置する
		B やんばる地域の観光を支える人材の育成・確保基盤整備	観光人材の育成	やんばる地域内で“観光産業”で活躍してもらおうことを目的に、地域内において共同の人材育成を実施する（学生向け就業支援、地域事業者の従業員のリスキリング支援等）
			観光人材の採用強化	地域内で不足する観光の担い手を確保するために、やんばる地域の観光産業への就職希望者の掘り起こしに向けた採用強化を行う
5 自然環境・住民に配慮した持続的な観光地づくりのための仕組み・体制構築	観光産業の成長とやんばるの自然資源の保全の両立を目指す	A 自然環境・地域住民に負荷をかけない観光客向けルール・マナーの策定・普及活動	特定課題の解決に向けた検討の場づくり（再掲）	特定のテーマ・課題に対する解決策を検討するため、産学官で検討できる場を設置する
			やんばる地域での観光に関する統一ルール・マナーの整備・周知	持続可能な観光の実現に向け、環境や地域住民に配慮した統一ルール・マナーの整備し、観光客に対して周知を行う

① やんばる観光地域づくり戦略の概要

やんばる観光地域づくり戦略推進のための役割分担

- 本戦略を推進するための各関係者間の役割分担は、下記の通り

凡例：◎（主導的な役割）、○（支援的な役割）

戦略の柱	方針	実施内容（打ち手）	実施主体					
			DMO	行政機関	観光関連団体	地域事業者	高等教育機関	地域住民
① 沖縄県の一大大観光地としての"やんばる"ブランドの確立	A) やんばる地域全体のマーケティング/ブランディング	観光地としての"やんばるブランド"強化に向けた活動の推進	◎	○	○	○		
	B) やんばる各市町村のマーケティング活動を支える基盤構築	"やんばる"ブランド活用ルール of 整備・統一化	◎	○	○	○		
		観光関連データの収集・整備	◎	○	○	○	○	
② 観光のもたらす効果の地域全体への波及	A) 観光客の流動化をもたらす施策の考案と実施	地域周遊に繋げるための広域観光の推進	◎	○	○	○		
		やんばる地域内での観光交通機能の整備・強化	○	◎	○	○		
③ 観光のもたらす効果の可視化と情報提供の徹底	A) 観光関連データの収集・整備と情報提供	観光関連データの収集・整備（再掲）	◎	○	○	○	○	
		地域関係者への情報発信	◎	○	◎	○		
④ やんばる地域全体での観光客受け入れ体制の構築	A) やんばる地域全体で取り組むべき特定テーマや課題に対する環境整備	特定課題の解決に向けた検討の場づくり	◎	○	○	○	○	
		観光人材の育成	◎	○	○	○	◎	
	B) やんばる地域の観光を支える人材の育成・確保基盤整備	観光人材の採用強化	○	○	◎	◎	○	
⑤ 自然環境・住民に配慮した持続的な観光地づくりのための仕組み・体制構築	A) 自然環境・地域住民に負荷をかけない観光客向けルール・マナーの策定・普及活動	特定課題の解決に向けた検討の場づくり（再掲）	◎	○	○	○	○	
		やんばる地域での観光に関する統一ルール・マナーの整備・周知	◎	◎	○	○		○

① やんばる観光地域づくり戦略の概要

やんばる観光地域づくり戦略における成果指標

- 本戦略では、①観光と住民・事業者・自然環境との共生、②観光によって稼ぐ力の2つの視点から成果指標を設定した

		概要	成果指標	現状値 (R6)	目標値 (R10)	
やんばる 観光地域 づくり 戦略における KGI	観光と住民・ 事業者・自然環境との共生	● 観光と地域住民の生活、および自然環境と持続的な共生を達成するための住民や観光事業者、自然環境保護から見た指標を測定する	住民満足度	72%	80%	
			観光業界従事者・事業者の満足度	83%	90%	
	稼ぐ力	観光の 経済効果	● やんばる地域への観光の経済面での効果を測定する	観光来訪者数	5,543	7,000
				月別来訪者数の平準化率	次年度測定	—
				延べ宿泊者数	次年度測定	—
				やんばる地域での訪問箇所数	次年度測定	—
				1人当たり旅行消費額	次年度測定	—
				観光事業者の平均給与額	次年度測定	—
	稼ぐ力	マーケティング・ ブランディング	● 観光の経済効果の最大化を達成するための取組（やんばる地域を訪れてもらうこと）としてのマーケティング・ブランディングの効果を測定する	来訪意向（旅行先としての興味・関心）	61.8%	80%
				来訪者推奨意向（NPS）	8.8pt	15.4pt
再来訪意向				次年度測定	—	

② やんばるDMO戦略（案）の概要

やんばるDMO戦略の目的、位置づけ

【策定の目的】

- 広域観光振興組織であるやんばるDMOの使命・目指す姿・行動基準を定義し、DMOが行う観光地経営の方向性や、やんばる地域の課題解決に向けて今後取り組むべき実施事業を示すことが目的

【位置づけ】

- 「やんばる観光地域づくり戦略」を上位計画として、その実現に向けて具体的な方法を記載した戦略

【計画期間】

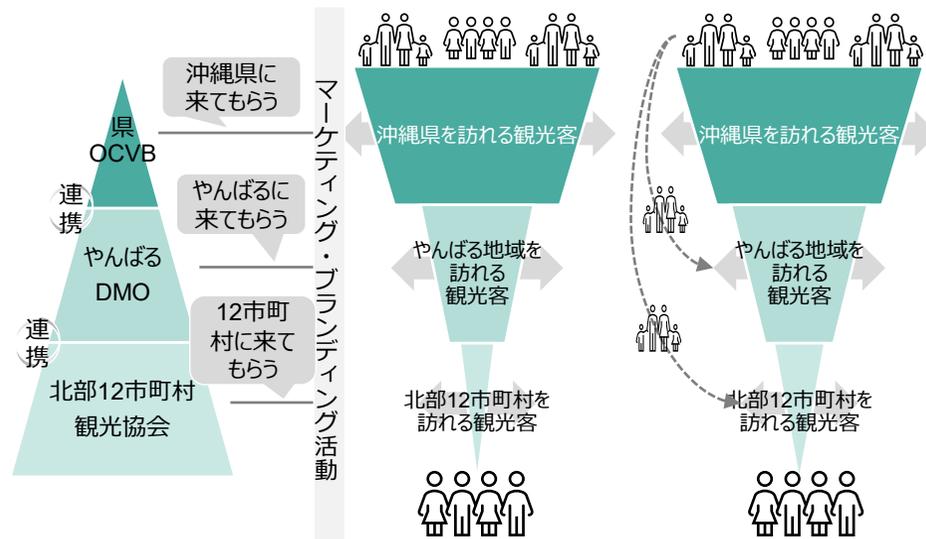
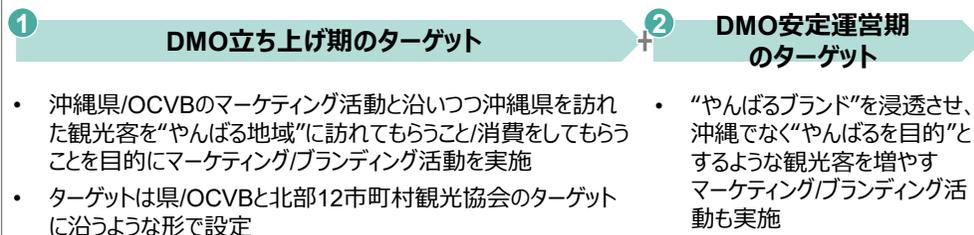
- 令和7度（2025年）から令和11年度（2029年）までの5年間

やんばるDMOの使命・目指す姿・行動基準

使命 (ミッション)	やんばる地域の地域連携DMOとして「観光による地域への経済効果」「地域住民の暮らしやすさ/地域事業者の経済活動のしやすさ」「自然環境への負荷」のバランスのとれた観光振興を推進します
目指す姿 (ビジョン)	やんばるDMOは、“地域住民および観光事業者の「観光に対する理解・満足度の向上」”、“観光客の「消費額の増加」「訪問意向の向上」「地域での滞在時間・箇所の増加」”を目指します
行動基準・指針 (バリュー)	<p>【観光地としての競争力の維持・強化】 12市町村・観光協会・民間事業者と協力をし、やんばる地域への観光の経済効果を最大化するような取組みを実施します</p> <p>【地域環境の維持・向上】 12市町村・観光協会・民間事業者と連携し、地域住民や自然環境への観光による影響を最小限に止めるような取組みを実施します</p>

やんばるDMOのマーケティング・ブランディングの方向性

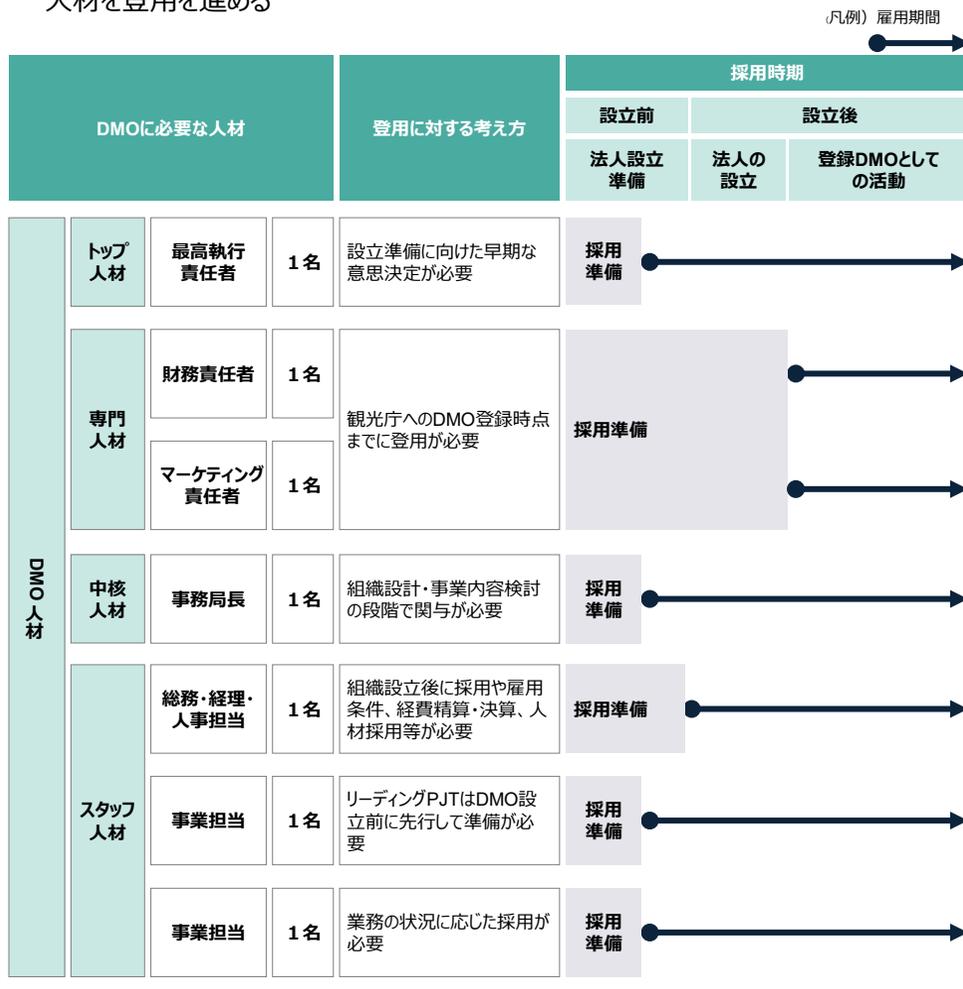
- 立ち上げ期は沖縄県/OCVB、北部12市町村観光協会のターゲットに沿う形で“沖縄を訪れる観光客”に“やんばる地域を訪れてもらう”ことを目的に、安定運営期には“やんばる地域訪問”を目的とした観光客獲得を目指すマーケティング/ブランディング活動を検討する



② やんばるDMO戦略（案）の概要

DMO組織の登用方針（案）

- DMO組織の人材は、組織の各段階を踏まえながら、組織の成長に合わせて必要な人材を登用を進める



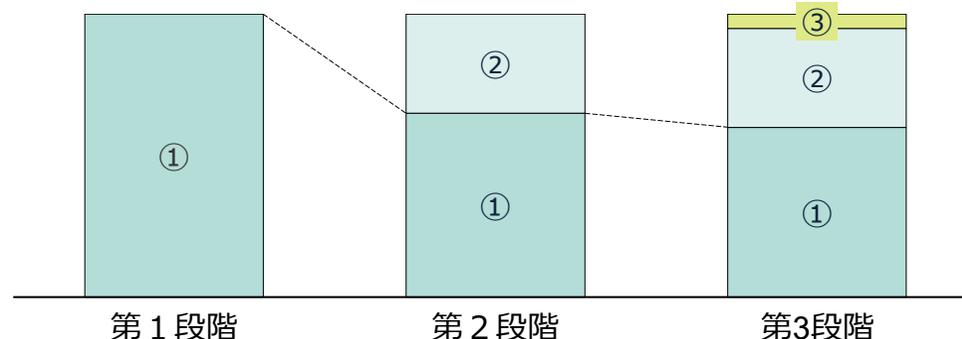
やんばるDMOの運営財源方針

- DMOの運営財源は、公的財源と自主財源の2つの財源を候補としてその確保に向けた取り組みを行う。本計画年度内は、公的団体からの直接収入を減らしつつ、宿泊税等の間接収入や事業収入の組み合わせによる運営を目指す

本計画年度内の運営財源（案）



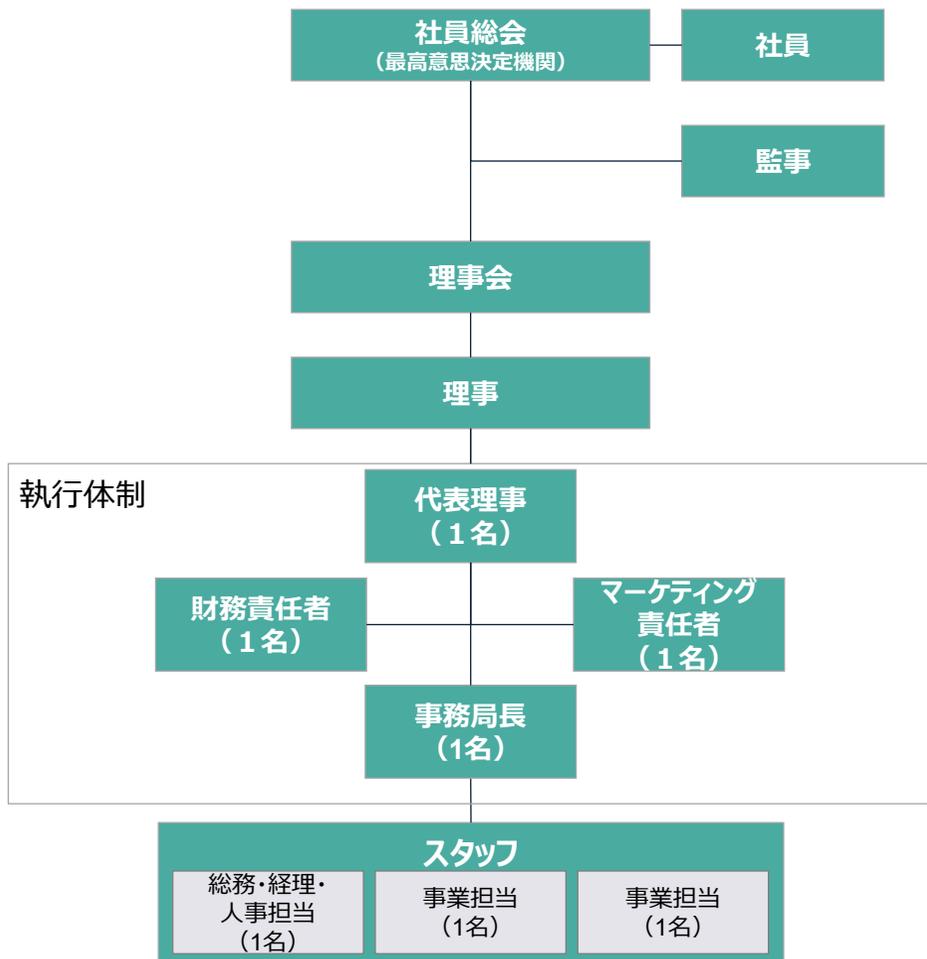
■ ① 公的団体からの収入（直接） ■ ② 公的団体からの収入（間接） ■ ③ 事業収入



② やんばるDMO戦略（案）の概要

やんばるDMO【仮称】（観光地域づくり法人）の組織体制図

- 法人格取得後は、以下の執行体制のもとに事業を推進する



DMOの立上・運営に向けた中長期ロードマップ^o

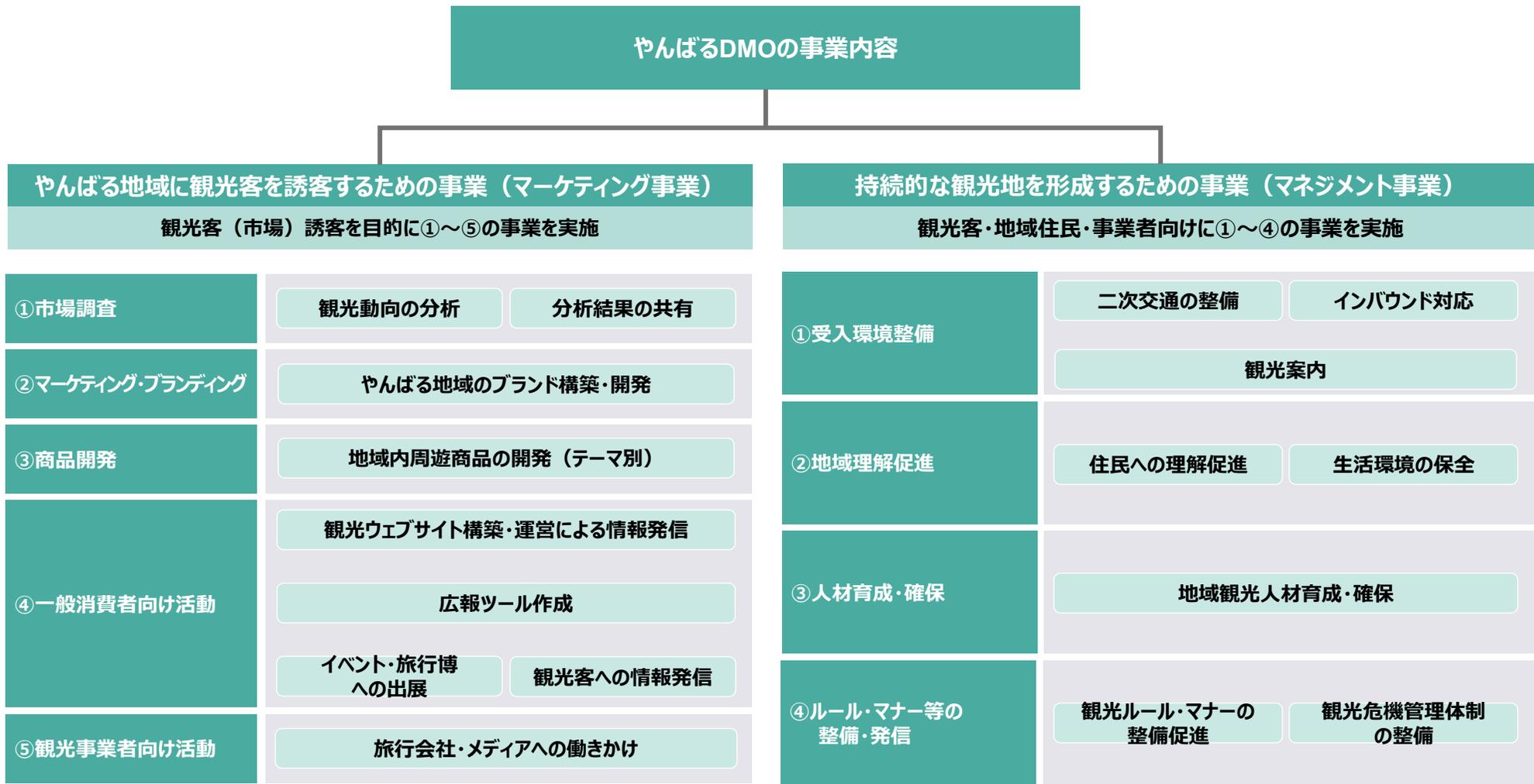
- 本戦略の計画期間（5年間）では、以下の第1～3段階のステップ（達成水準）を設けた上で事業運営を行う

	第1段階 (組織立上/DMO登録期)	第2段階 (安定運営期)	第3段階 (機能拡充期)
年度	R7年(2025)～ R8年(2026)上期	R8年(2026)下期～ 令和10年(2028)下期	令和10年(2028)下期～ 令和11年(2029)下期
目標	<ul style="list-style-type: none"> 組織立ち上げ準備 観光庁へのDMO登録手続き・申請対応 	<ul style="list-style-type: none"> 観光庁の登録DMOへの登録 	—
達成水準	地域全体	<ul style="list-style-type: none"> やんばる地域の主要な関係者と関係性が構築できている状態 	<ul style="list-style-type: none"> やんばる地域全体の合意形成を図るための戦略をDMO主体で立案し、地域全体で合意形成が図られている状態
	人材	<ul style="list-style-type: none"> 設立初期段階に必要な人材を登用し、組織的な意思決定ができている状態 	<ul style="list-style-type: none"> DMOの運営人材の採用(スタッフレベル)が完了し組織体制が整った状態 プロパーとして採用した人材がDMOの中核を担っている状態
	財源	<ul style="list-style-type: none"> 行政からの負担金や補助金を活用し、将来的な行政負担の軽減策の検討ができている状態 	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県で徴収を開始する宿泊税の活用等によりDMOの運営財源が多様化している状態 左記の宿泊税に加え、自主事業等による新たな財源により、財源がさらに多様化している状態
	事業	<ul style="list-style-type: none"> 優先的に実施すべき事業を特定し、一部の事業が開始されている状態 	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画～事業評価まで一連のPDCAサイクルが回り、年度毎の事業評価・検証ができている状態
情報	<ul style="list-style-type: none"> やんばる地域全体で必要なデータを特定し情報開示に向けた体制が整っている状態 	<ul style="list-style-type: none"> 収集したデータに関係者に適切に開示し、データ活用等に対する行政や民間事業者からのフィードバックを受け、よりよい情報公開を繰り返している状態 	

② やんばるDMO戦略（案）の概要

やんばるDMOが実施する事業の全体図

- やんばるDMOは、やんばる地域を対象地域として、「マーケティング事業」と「マネジメント事業」の2つの観点から事業を展開する



②やんばるDMO戦略（案）の概要

やんばるDMOが実施する主なマーケティング事業

- やんばる地域の潜在的消費者に関する情報を収集・発信しながらも、訪問頂いた観光客のやんばる地域全体への流動性を高めるためのマーケティング事業を展開する

分類	事業	概要
①市場調査	観光データマネジメントプラットフォームの構築・運営事業	<ul style="list-style-type: none"> 行政・民間事業者が観光施策や事業立案等をする上で参考となる観光関連データの収集・公表に向けた指針を整理 地域関係者（12市町村・観光協会）が実施する収集データの共通化や、やんばる地域の関係者が誰でも容易に観光データの利用ができる“観光データプラットフォーム”を構築を目指す
②ブランディング	観光地としてのやんばるブランド構築事業	<ul style="list-style-type: none"> やんばる地域が観光地としてブランド化を進めるためのブランド戦略を検討 各市町村・観光協会・地域事業者が一体となってマーケティング・プロモーション活動を実施できるよう、ブランディング・ガイドライン等を作成
③商品開発	地域内周遊商品の開発事業	<ul style="list-style-type: none"> やんばる地域に訪れる観光客の流動性を高めることを目的として、広域観光側の旅行商品の開発を検討・実施 本部港クルーズ船客の滞在中の外国人観光客をターゲットに、滞在中の行動把握・分析に基づく周遊策を検討を実施
④一般消費者向け活動	情報ウェブサイトの構築・運営事業	<ul style="list-style-type: none"> マーケティング活動に活用可能なユーザーデータを取得できるマーケティングプラットフォーム（観光サイト）の構築 上記情報の定期的なアップデートをするとともに、将来的にはやんばるDMO主導による来訪者への情報発信やアンケート調査を実施
	旅行博等への共同出展事業	<ul style="list-style-type: none"> やんばるDMOが主導で旅行博への出展戦略・方針を作成し、各市町村・観光協会と協力・連携したプロモーションを実施
⑤観光事業者向け活動	法人マーケット向けの誘客事業	<ul style="list-style-type: none"> やんばる地域の広域観光商品の販売に向け、旅行会社・メディア向けの商談会やファミトリップ等を実施

やんばるDMOが実施する主なマネジメント事業

- やんばる地域の「稼ぐ力」と「地域住民・事業者の暮らしやすさ・事業のしやすさ」「地域の自然環境」のバランスをとるためのマネジメント事業を展開する

分類	事業	概要
①受入環境整備	北部地域における観光周遊促進事業	<ul style="list-style-type: none"> 現況調査や観光渋滞の対策方針を踏まえて、観光周遊手段や観光周遊拠点の検討を実施 また、それらを踏まえて周遊ルートを検討し、その運営体制やスケジュールを整理 本部港クルーズ船客の周遊促進に向けOCVBと連携した誘致活動や市町村と連携した受入を実施
②地域理解促進	地域住民・地域事業者とのコミュニケーション事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民や事業者向けに観光振興に対する情報を定期的に開示 地域住民や地域事業者がやんばる地域の観光振興に対する意見が反映できる場（ワーキンググループ）を組成
③人材育成・確保	やんばる地域の観光人材育成事業	<ul style="list-style-type: none"> 既存の観光関連人材を育成するためのカリキュラムを作成 サービス提供の質向上を図るとともに、観光関連人材を志す人材を対象としたカリキュラム作成や人材獲得に向けた取組を実施
④ルール・マナー等の整備・発信	ルール整備・啓蒙活動事業	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客をターゲットに、旅行を安全に楽しんでもらうための注意事項や、自然・文化・景観保護や地域住民配慮の観点から守ってほしいルールを整備し、情報を発信
	やんばる地域の観光危機管理体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> OCVBの取組と連携して、やんばるエリアでの観光危機管理体制の充実、現場の対応力向上を目指す